

1. 採点業務省力化ソフト（百問繚乱（株）Simple Education）の使用状況



- 県立全日制高等学校（38校）及び県立中学校（1校）に環境URLを付与
- 業者によるオンライン研修実施
- ICT支援員も活用し、学校ごとに使用環境整備

1学期中間考査期間後使用
28校実施

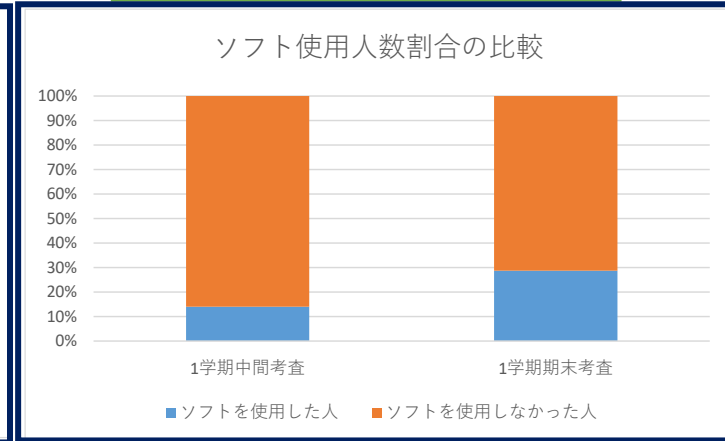
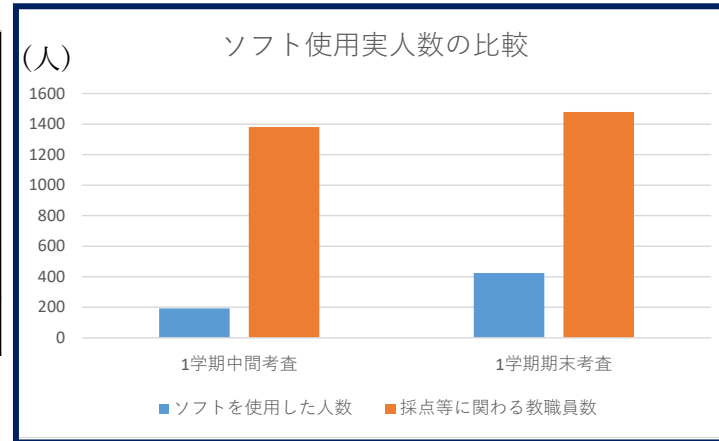
1学期期末考査期間後使用
35校

○県立全日制高等学校（38校）及び錦丘中学校で使用

先生方の声

- 手間が省けるので作業が楽。
- 採点基準の確認が、教科担任同士でやりやすい。
- 切り出し採点によって、部分点のブレなし。
- 観点別の合計が楽で、ミスもない。
- グーグルクラスルームを利用してペーパーレスで返却可
- コメントの記入が容易。
- 他教員の担当箇所を参考として閲覧できる。
- 個票をグーグルクラスルーム等で生徒に配付できるため、考査後の指導に活用しやすい。

調査時期	ソフトを使用した人数	ソフトを使用しなかった人数	採点等に関わる教職員数
1学期中間	193	1188	1381
1学期期末	425	1055	1480

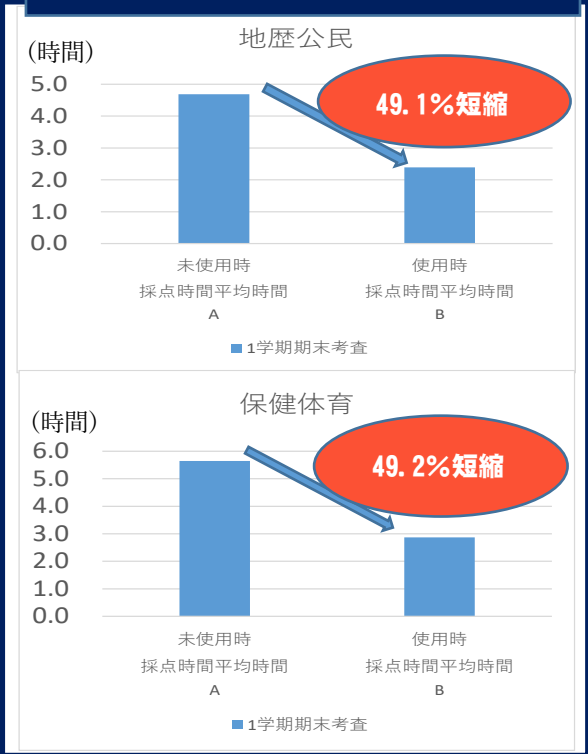


2. 教職員の多忙化改善への効果の分析

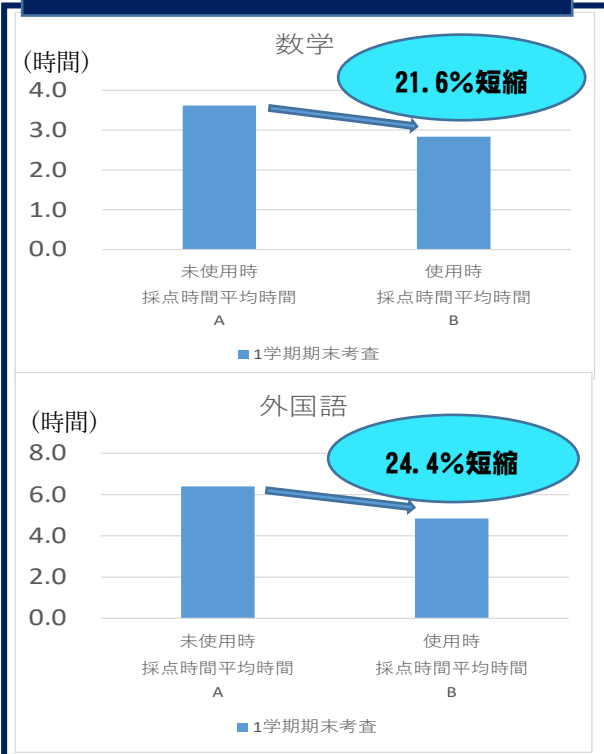
1学期期末考査まで

教科	ソフトを使用して採点した答案数	未使用時採点時間平均時間 A	使用時採点時間平均時間 B	A-B C	時間短縮の割合 (%) C/A
国語	9362	9.1	6.3	2.8	30.8
地歴公民	8912	4.7	2.4	2.3	49.1 ☆
数学	4698	3.6	2.8	0.8	21.6
理科	8905	13.5	7.6	5.9	43.6
保健体育	2907	5.6	2.9	2.8	49.2 ☆
家庭	2009	7.3	5.6	1.7	23.2
外国語	6819	6.4	4.8	1.6	24.4
農業	421	4.6	2.8	1.8	38.2
工業	1057	2.9	2.1	0.8	26.2
商業	1034	2.5	1.3	1.2	47.6
情報	1135	8.0	3.7	4.3	53.4 ☆
福祉	98	18.0	18.0	0.0	0.0
進路指導	48	2.0	1.0	1.0	50.0
全教科	47405	6.8	4.7	2.1	30.4

【時間短縮の効果があつた教科の例①】



【時間短縮の効果があつた教科の例②】



- ▲体への負担（目、肩）
- ▲PCが不得手の人にとっての最初のハードルが高い。
- ▲操作上分からないことなど、質問が特定の教員に集中。
- ▲非常勤や兼務の先生のためにテレワーク機能が必要。
- ▲記述問題は生徒の紙で採点し、ソフトに入力するので二度手間。
- ▲少人数の場合は、手作業で採点が早い。

先生一人あたり、採点時間として平均2時間の短縮効果が見られた。
先行した人からの高評価を得て、今後も使用者は増加することが見込まれる。

☆時間短縮した割合がとて大きい

